

2025年4月9日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

**「T&D ベトナム株式ファンド」  
「ベトナム・ASEAN・バランスファンド」  
の基準価額の下落について**

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「T&D ベトナム株式ファンド」および「ベトナム・ASEAN・バランスファンド」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響につきまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2025年 4月8日 基準価額(円)	2025年 4月9日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T&D ベトナム株式ファンド [愛称:V-Star]	18,301	16,848	▲1,453	▲7.94
ベトナム・ASEAN・バランスファンド [愛称:V-Plus]	15,061	14,194	▲867	▲5.76

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2025年4月4日 指数値	2025年4月8日 指数値	騰落率 (%)
VN 指数	1,210.67	1,132.79	▲6.43

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、4月4日と4月8日を比較しています。(4/7は証券取引所の休業日)

	2025年4月8日 (円)	2025年4月9日 (円)	騰落率 (%)
ベトナムドン(対円レート)	0.573	0.559	▲2.42

(ベトナムドンは小数点第4位四捨五入、騰落率は小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、4月8日と4月9日を比較しています。  
ベトナムドンの為替レートは100ベトナムドン当たり。

出所:ブルームバーグ

**◆ 足許の状況**

4月2日に米国のトランプ政権が発表したベトナムに対する46%の相互関税の発動期日(9日午後)が迫り警戒が強まったこと、中国が米国への報復措置の発動に強硬な姿勢を示したため、トランプ米大統領が対抗措置として中国に更なる追加関税を課すと表明し、貿易戦争激化への懸念が高まったことなどから、8日のベトナム株式市場は大幅に下落しました。

8日のASEAN地域債券市場は、米国長期金利の上昇などにより下落しました。

このような市況に加え、9日の為替市場でベトナムドンおよびASEAN各国通貨が対円で下落し、9日の基準価額が前営業日比で大幅に下落しました。

**◆ 今後の見通し**

米国の関税政策の行方についての思惑などから、当面ベトナム株式市場は変動性の高い展開となることが想定されます。

トランプ政権が発表したベトナムに対する相互関税は想定以上に厳しい内容ですが、現段階でベトナム政府が報復措置を検討せず、ベトナムのラム共産党書記長とトランプ米大統領が電話会談を行い、関税措置撤廃に向けた協議を行うことを合意しました。また、同書記長が米国からの輸入品の関税をゼロに引き下げる可能性を示唆したこと、防衛関連等の米国製品の輸入拡大を表明したこと、交渉のために関税措置の発動延期を求めたことなど、相互関税軽減のための交渉が継続しており、その動向を注視していく必要があると考えています。

一方、相互関税の発表を受けて、ベトナムのファム首相が2025年の実質GDP成長率目標(前年比8%以上)を変更しないことを強調しており、インフラ投資や不動産市場への支援など、政府による経済支援が加速することに期待しています。工業団地開発事業者や港湾運営事業者などの輸出関連企業へのエクスポージャーの調整等の対応が必要になると考えるものの、中長期的には、観光産業の拡大、経済成長を背景とした所得の伸び、中間所得層の拡大による消費需要の加速などに伴って、ベトナム株式市場についても安定的な成長軌道に回帰するとみています。

このような見通しの下、ベトナムの構造的な経済成長の恩恵を受ける企業に重点を置いた銘柄選択を行い、強固で持続可能な収益を生み出す力を持つ銘柄への投資を継続します。

ASEAN地域債券市場については、インフレと景気の鈍化を背景としたASEAN地域の緩和的な金融政策により、堅調なパフォーマンスを見込んでいます。加えて、米国の関税強化の動きが一因となって中期的に世界経済が減速するシナリオ下では、ASEAN地域の債券価格は一層下支えされるとみています。

以上

※ 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

### 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

#### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

#### 《ご注意》

上記は一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクはそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。

#### ファンドに係る費用について

##### ◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **3.30%(税込)**

信託財産留保額・・・換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.5%**の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。

##### ◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年1.98%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。